

秋風が心地良く過ごしやすい季節となり、園庭に出て遊ぶ機会が増えました。園庭にブルーシートを敷き、お気に入りの玩具を見つけて遊んだり、砂を触って感触や冷たさを楽しんだりしています。初めて靴を履いて園庭に遊びに出る子どもたちもいました。保育者の手を握りながら一歩一歩慎重に足を踏み出したり、園庭を端から端まで探索したりと、新しい世界に触れていく様子がほほえましかったです。

室内ではシール貼りやパス画の機会を取り入れています。自分で好きな色のパスを選び、いろいろな色を使ってなぐり描きをして思い思いに表現することを楽しんでいました。シール貼りでは始め、手に貼りついたシールが取れずに保育者に助けを求める姿もありましたが、繰り返し保育者と一緒に行う中で方法が分かるようになり、紙に貼る喜びを感じています。一人ひとりの表現を大切にしていきたいと思います。

10月は大学の森へ散歩に行き、豊かな秋の自然の中で、心も体も動かす経験をたくさんしたいと計画しています。また、着替えの際に自分でズボン上げようとしたり、口拭きタオルを口に当ててみたりと、身の回りのことを保育者と一緒に行ってみようとする姿が見られます。一つひとつ丁寧に関わりながら一人ひとりのやってみようとする思いに寄り添い、大切に積み重ねていきたいと思っています。



戸外遊びの準備をしていた時、帽子入れから保育者と一緒に自分の帽子を取り、その帽子を手に持って歩いて行ったAちゃん。どこへ行くのかなと見ているとまだ帽子をかぶっていなかったBくんのところへ行き、自分の帽子をかぶせてあげようとしていました。自分のことだけでなく、お友だちの準備も手伝おうとする優しい心で成長を感じました。

朝夕は肌寒さを感じる季節となりました。体操が大好きな子どもたちは『バナナくんたいそう』『フルフルフルーツ』『ひよこおんど♪』等、曲が聞こえてくると大喜び、保育者の動きを真似て体を揺らし、一人ひとり生き生きと表現することを楽しんでいました。また、手洗いや衣服の着脱など保育者と一緒に行っています。保育者と同じように手を擦り合わせようとしたり、洗ったあとは「ぱっ、ぱっ、ぱっ」と手を合わせて水を切ったり、自らやってみようとする意欲が見られます。繰り返し伝える中で「きれいになったね」「きもちいいね」と心地よさを感じられるように過ごしていきたいと思っています。衣服の着脱では、保育者に手伝ってもらいながら、自分でズボン上げ下げしたり、腕や頭を通そうとしたりする姿が見られます。自分でできた時にはにっこり笑って、喜びを表す子どもたちです。ズボンが履きやすいように準備し、着脱時のズボンや服の持ち方を軽く手を添えて伝えたり、難しいところはさりげなく手伝い、自分でしようとする思いに寄り添っていきたいと思っています。

10月は、戸外遊びや散歩をし、子どもたちの発見や喜びに共感したり、拾った木の实や色づいた葉っぱを遊びに取り入れたりして、秋の自然に触れて遊びたいと思います。また、レンコンやオクラ、サツマイモの野菜スタンプを計画しています。野菜の形の面白さや絵の具でスタンプする楽しさを感じ、それぞれに表現する姿を大切に见守っていききたいと思っています。私たちに大切な恵みを与えてくださる神さまの愛を感じながら、今月もお友だちや保育者と元気に過ごしたいと思っています。



ひよこ組では今、『さっさとにげました』という手遊びが流行っています。右手と左手を「ブタ」と「オオカミ」に見立て、ブタが散歩していると、腹ペコオオカミがやって来るお話を言葉(歌)と手の動きで表現します。
オオカミ「まてまて」 ブタ「やだやだ」
オオカミ「まてまて」 ブタ「やだやだ」
(ブタが)さっさとにげました
オオカミ「ちえっ」
追いかけるオオカミと逃げるブタのやりとりが面白く、最後、ブタに逃げられたオオカミが悔しがって「ちえっ」と言うところで、毎回大笑い子どもたち。保育者を真似て子どもたちも表情豊かに表現し、とてもかわいらしいです。

朝夕は涼しくなりましたが、日中はまだまだ汗をかきながら戸外で体を動かして遊んでいるりす組の子どもたち。近頃は『むっくりくまさん』という簡単なルールのある鬼ごっこを戸外遊びで楽しんでいます。「むっくりくまさん、むっくりくまさん、あなのなか〜♪」と周りの子どもが歌い、最後に「お〜き〜て〜!」とくま役の子どもを起こした後、周りの子どもたちは逃げます。くま役が追いかけると「きたー! きゃー!」と声を上げて逃げる子どもたち。「つぎ、くまさんしたい」と順番にくま役になり、繰り返し楽しんでいきます。その中で、周りの友だちにも「OOくん!」と名前を呼んだり、手で招いたりして誘う姿も見られました。友だちのことを想う優しい気持ちを大切に、遊びを通して関わりを広げていけるように見守っていききたいと思っています。また、生活面では夏前まで保育者に手伝ってもらったことが多かった戸外遊びの準備に少しずつ変化が見られ、自分で帽子をかぶったり、靴下や靴を履いたりする姿が増えてきました。自分でしようとする姿を大切に、喜びや自信につながっていくように過ごしていきたいと思っています。

10月は秋も深まる季節。たくさん散歩に出かけ、子どもたちの興味・関心を大切に、発見や驚きを楽しみながら、心地よい秋の自然を感じたいと思います。また制作では初めてハサミを使って「1回切り」に挑戦し、サツマイモの制作を楽しみたいと考えています。いろいろな経験の中でできることが増えてきますが、やってみようとする気持ちやうまくいかなくても心を動かして過ごす一人ひとりのありのままの姿を大切に见守っていききたいと思っています。



午睡明けに着替えをする時、服の前後を保育者に確認することが多かったAくん。ある日、気が付くと一人で服を着替えていました。保育者に「すごいね!」と声をかけられると、にっこり笑って照れくさそうにしていました。これからも自分でやってみようとする姿を大切に见守り、行きつ戻りつの成長にあたたかいまなざしを注ぎ、育ちを支えていけるように関わっていききたいと思っています。